

位置図

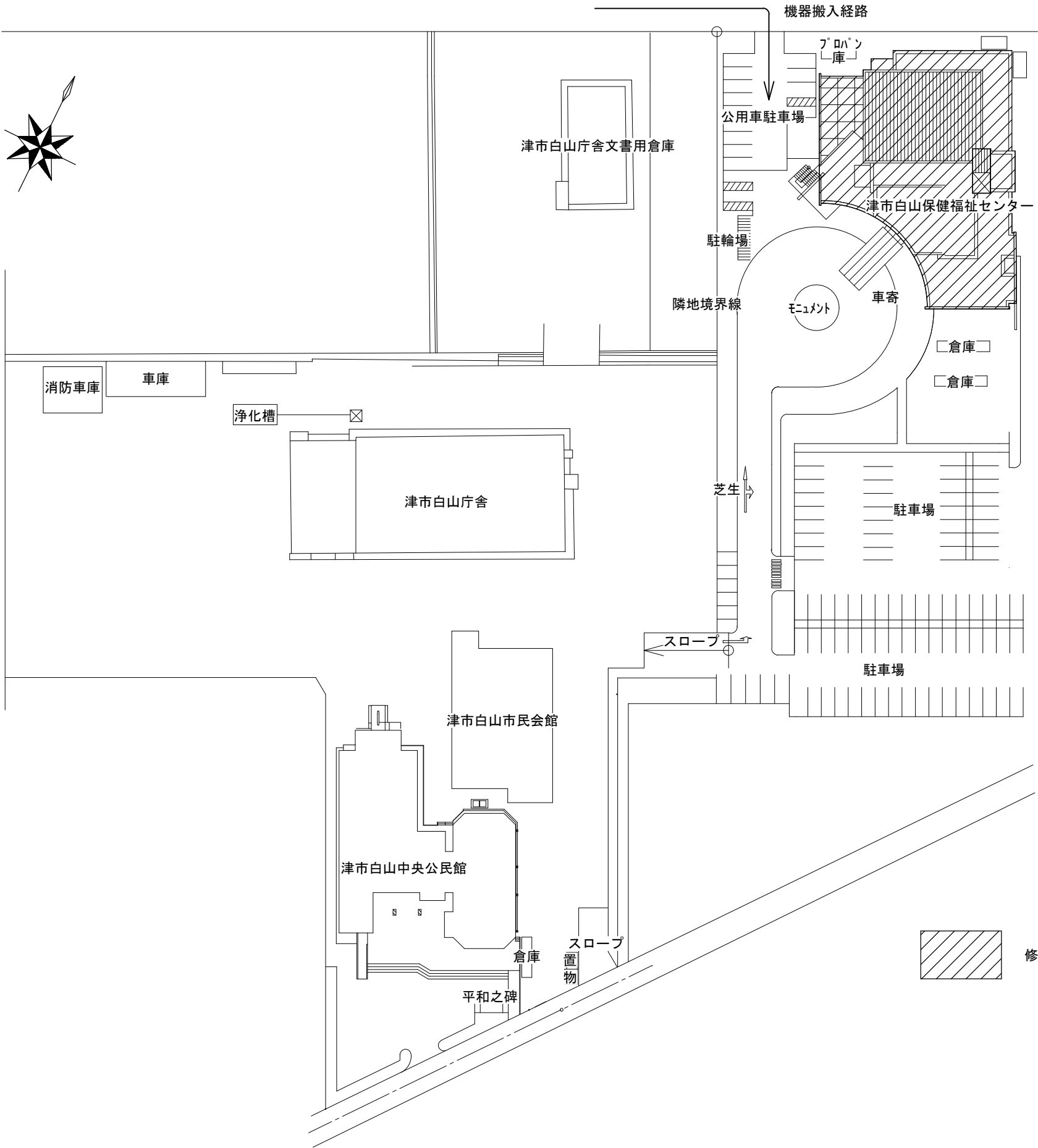
特記事項

(修繕概要)

- ・既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
※更新箇所は図示による
- ・上記に伴う機械設備修繕等

(施工条件)

- ・契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・修繕期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、閉館日に行うこと。
また、外部作業については施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、修繕の日程を決めること。
- ・大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- ・作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、修繕過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本修繕に含む。
なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・修繕用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・修繕用車両及び修繕関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ・受注者は再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合は、修繕着手及び 修繕完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、修繕着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータ入力し、修繕完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。



配置図 S=1/800

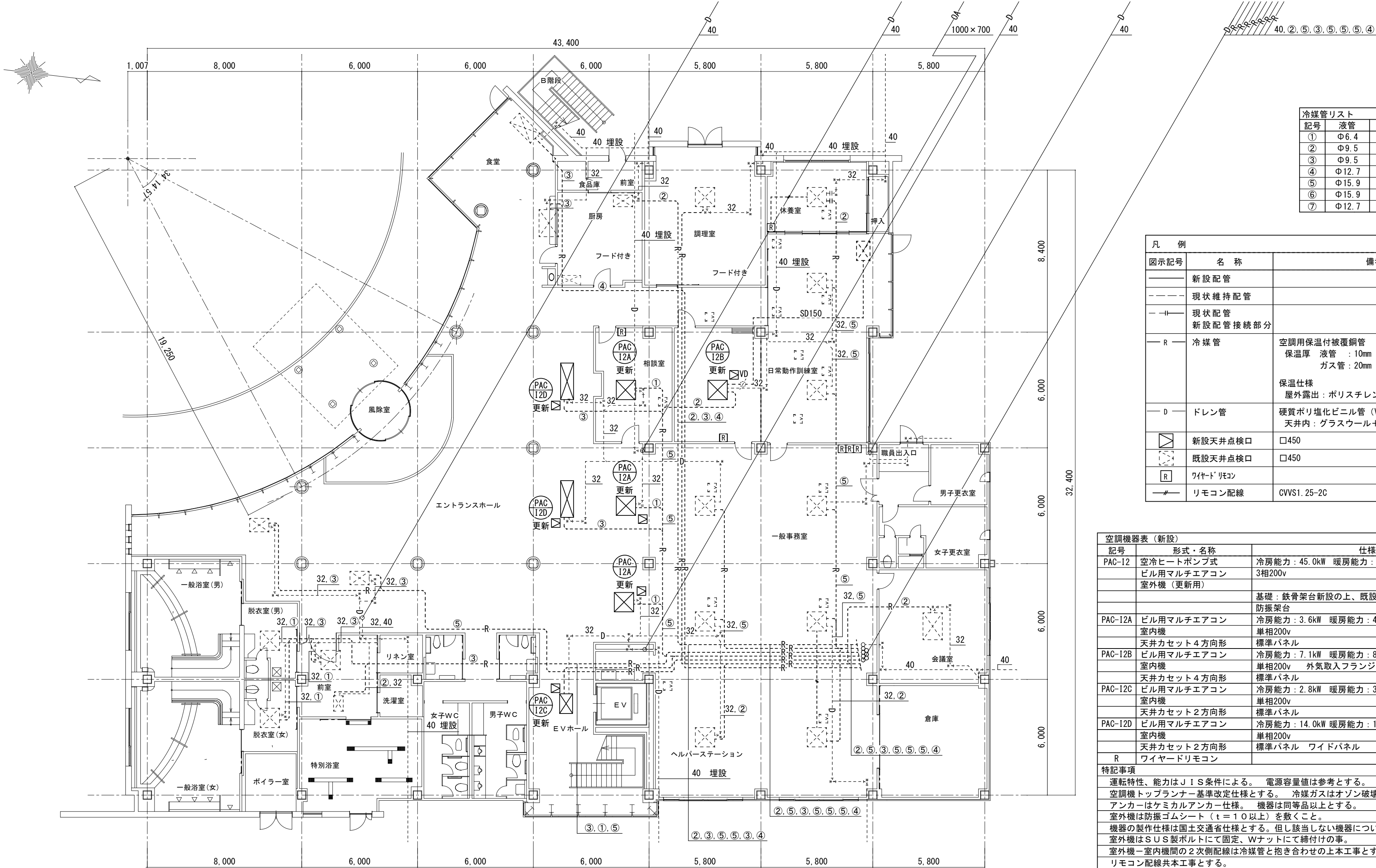
(解体撤去処分)

- ・本修繕により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
また、修繕着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・修繕完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- ・当該修繕を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。
- ・工事着手に先立ち、石綿含有建材の使用について、目視、設計図書及び貸与資料等により書面調査及び現地調査し、監督職員に報告すること。
- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和4年版」
独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

津市白山保健福祉センター空調設備取替修繕		縮尺 1/800
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A 2
津市建設部営繕課		No. 1/3



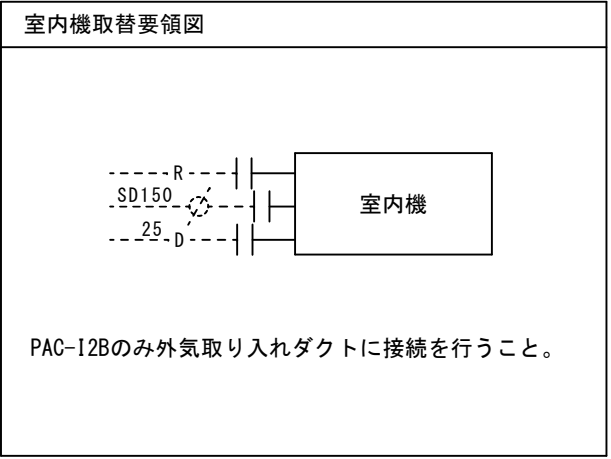
冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	渡り配線
①	Φ6.4	Φ12.7	CVV1.25-2C
②	Φ9.5	Φ15.9	CVV1.25-2C
③	Φ9.5	Φ19.1	CVV1.25-2C
④	Φ12.7	Φ28.6	CVV1.25-2C
⑤	Φ15.9	Φ31.8	CVV1.25-2C
⑥	Φ15.9	Φ38.1	CVV1.25-2C
⑦	Φ12.7	Φ25.4	CVV1.25-2C

凡 例		
図示記号	名 称	備 考
—	新設 配管	
---	現状維持 配管	
—R—	現状 配管 新設 配管 接続部分	
—R—	冷 媒 管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm ガス管：20mm 保温仕様 屋外露出：ポリスチレン保温筒+SUSラッキング仕上げ
—D—	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） 天井内：グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒
□	新設天井点検口	□450
□	既設天井点検口	□450
R	ワイヤードリモン	
—	リモコン配線	CVVS1.25-2C

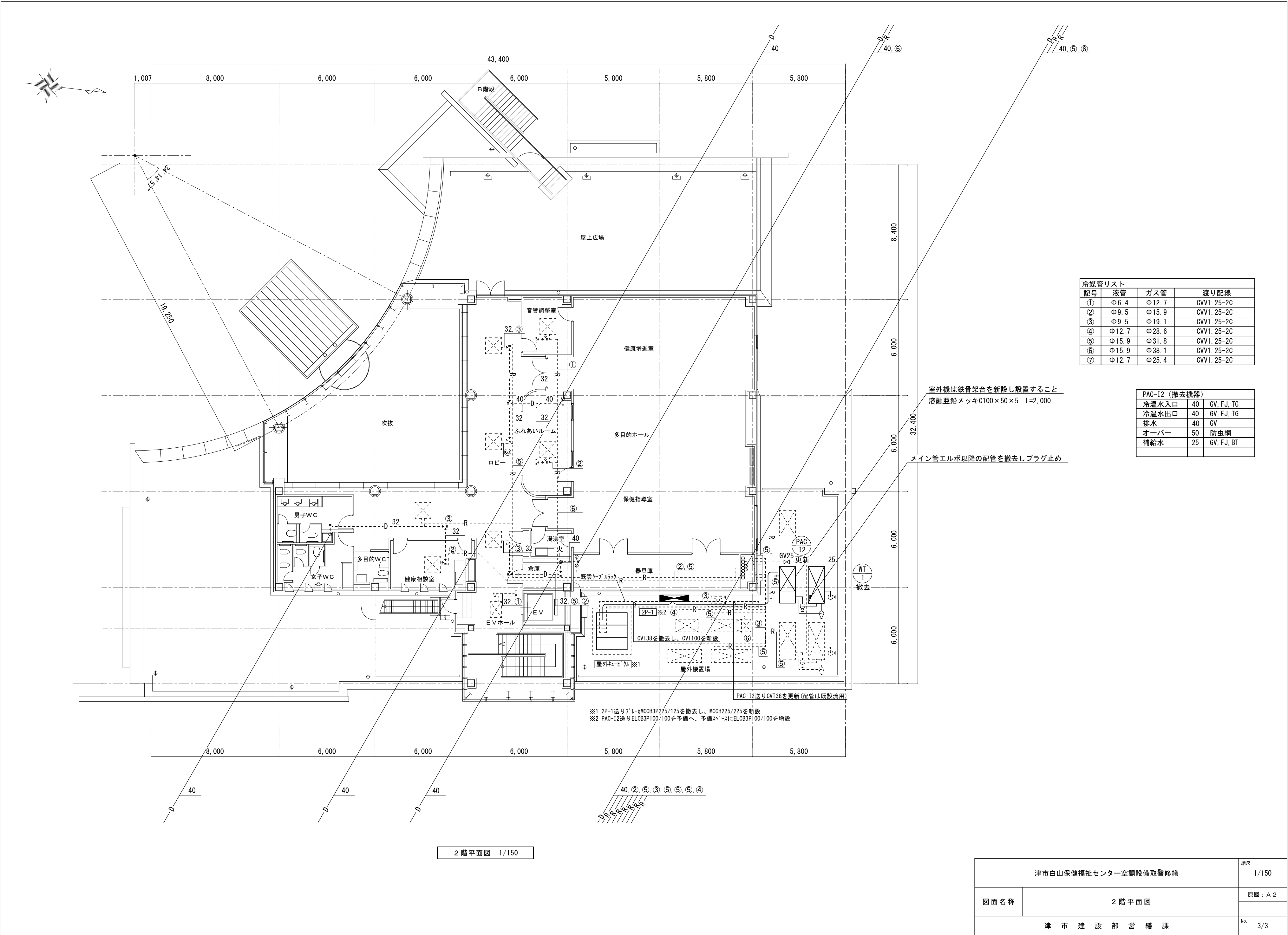
空調機器表（新設）			
記号	形式・名称	仕様	台数
PAC-I2	空冷ヒートポンプ式 ビル用マルチエアコン 室外機（更新用）	冷房能力：45.0kW 暖房能力：50.0kW 3相200v	1
		基礎：鉄骨架台新設の上、既設基礎流用 防振架台	
PAC-12A	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：3.6kW 暖房能力：4.0kW 単相200v	3
	天井カセット4方向形	標準パネル	
PAC-12B	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 単相200v 外気取入フランジ	1
	天井カセット4方向形	標準パネル	
PAC-12C	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：2.8kW 暖房能力：3.2kW 単相200v	1
	天井カセット2方向形	標準パネル	
PAC-12D	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW 単相200v	2
	天井カセット2方向形	標準パネル ワイドパネル	
R	ワイヤードリモン		5
特記事項			
運転特性、能力はJIS条件による。電源容量値は参考とする。			
空調機トップラナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。			
アンカーはケミカルアンカー仕様。機器は同等品以上とする。			
室外機は防振ゴムシート（t=10以上）を敷くこと。			
機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。			
室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。			
室外機－室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。			
リモコン配線共本工事とする。			

空調設備改設工事要領
1. 空調室内外機の新設をおこなう。
2. 室外機はSUS製Wナットにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカーはケミカルアンカー仕様。
3. 冷媒管、室内外連絡線、リモコン制御線は既設利用とする。
4. ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。
5. ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。
6. 既設のリモンを撤去し、新設する。
7. 室内機に設置されている外気取入ダクトの切断接続を行うこと。

空調機器表（撤去）			
記号	形式・名称	仕様	台数
PAC-I2	氷蓄熱式ビル用マルチエアコン 室外機	冷房能力：45.0kW 暖房能力：33.5kW 3相200v 防振架台 型式：RDYJ450LA6（ダイキン）	1
WT-1	蓄熱槽	FRP製 4.0m3 附属品共	1
PAC-12A	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：3.5kW 暖房能力：4.0kW 単相200v	3
PAC-12B	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 単相200v	1
PAC-12C	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：2.8kW 暖房能力：3.2kW 単相200v	1
PAC-12D	ビル用マルチエアコン 室内機	冷房能力：14.0kW 暖房能力：16.0kW 単相200v	2



津市白山保健福祉センター空調設備代替修繕		縮尺
図面名称	1 階平面図・機器表	原図：A 2
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 2/3



冷媒管リスト			
記号	液管	ガス管	渡り配線
①	Φ6.4	Φ12.7	CVV1.25-2C
②	Φ9.5	Φ15.9	CVV1.25-2C
③	Φ9.5	Φ19.1	CVV1.25-2C
④	Φ12.7	Φ28.6	CVV1.25-2C
⑤	Φ15.9	Φ31.8	CVV1.25-2C
⑥	Φ15.9	Φ38.1	CVV1.25-2C
⑦	Φ12.7	Φ25.4	CVV1.25-2C

PAC-12（撤去機器）		
冷温水入口	40	GV, FJ, TG
冷温水出口	40	GV, FJ, TG
排水	40	GV
オーバー	50	防虫網
補給水	25	GV, FJ, BT

室外機は鉄骨架台を新設し設置すること
溶融垂鉛メッキC100×50×5 L=2,000

メイン管エルボ以降の配管を撤去しプラグ止め

※1 2P-1送りケーブルMCCB3P225/125を撤去し、MCCB225/225を新設
※2 PAC-12送りELCB3P100/100を予備へ、予備ケーブルにELCB3P100/100を増設

2 階平面図 1/150

津市白山保健福祉センター空調設備取替修繕		縮尺 1/150
図面名称	2 階平面図	原図：A 2
津 市 建 設 部 営 繕 課		No. 3/3